

## 「川辺川事業に関する意見」

私は、川辺川ダム事業に対し賛成です。

現在の気象は、テレビ等で報道されている通り、地域温暖化現象に有り、いつ何時、人吉球磨が予想を越えた集中豪雨に遭うか分かりません。

もし、ダムがなかったら降った雨が、一気に下流域に流れ、人吉市内又は、下流域の地域に甚大な災害が及ぶ事になります。よく、緑のダムという人がいますが居ますが、森林の保水能力は昔に比べ、杉や桧等の針葉樹が増え河川も整備で三方張水路となり、一気に河川が増水すると思われれます。この事を抑止するにはダムにより、1度クッションをつけ、下流域に警報を出し、非難する時間を作るのが一番良い考えだと思います。

夕

4

責 50

任 年 安 12

は に 金 よ

誰 一 対 以

か 度 策 外

の

と 禁 は

る 水 反

か の 一

11  
11

11  
00

「緑のダム」で洪水が防げますか？

球磨郡は森林に囲まれているが、人吉で洪水が起きている。

林業の衰退で森林の状態が悪くはかり  
今の「緑のダム」では洪水は防げません。  
ダムを作りなさい。

私は、球磨郡あさぎり町に住んでいます。  
縁があって他県からあさぎり町へ嫁いできました。

何年か前までは川辺川ダムの問題について何も知らず、私には関係のない事だと思いこんでいました。

テレビや新聞でダムの討論会の様子や記事をもってもあまり関心もわきませんでした。ただ何となく分からないのは、今から造るダムに反対するのなら別ですが五木村の住民が移転し、関係の工事がお金を掛けてできあがっています。

1日も早くダムを完成させ、人吉球磨の人達が安心して暮らせる町にすることが結果的には、一番経済的だと思います。

いま、地球温暖化の影響による異常気象や豪雨が頻繁に起きています。  
後の祭りにならないようにお願いします。

この包の医額の費用を、ついでして  
ダムを作るという事で進めて来た事を  
今になった、中止する事は、毎の  
それこそムダ使い、と言えは、これ  
ほどのムダ使いはないと思う  
反対、反対と言う事は本当に  
無、積、母子甲任、きまわりない事と思う。

まだまだ水不足の中で水稲を作っている農家が多い。

その農家の方々も高齢化が進み若い人達も農業離れで会社勤めが増え、真夏の日照りには、老体におちついて田畑に給水作業を止めている高齢者と本当に気の毒に思う。お米は水が命。人類も水が命。その尊い命、財産を守り為にも、ぜひダムは必要だと思ふ。

若い人達も、進んで農業ができる方は、豊かな水の有る田畑にしてほしいと思ふ。

川辺川ダムは、流域の治水、水害防止等重要な  
雨を已えていると思われています。流域の各方面では、水質  
の保全や、環境の悪化等、反対の意見も多く出て  
いる所が、他域の安全面から見れば、やはり、ダム  
に治水は必要かと思われています。

去る6月下旬の大雨時に、人吉市と、球磨村上流域の  
洪水直前の様子を実際に見て、(当時、高速道路不  
通の益国道219号を走行中)、天災等の危険を予感  
したことが、上流域には、市庁ダムが、多少の洪水  
調節を行っているが、五木方面での大雨時は、調整  
機能は全くたつようになりかっています。このような点  
から、一歩早く、川辺川ダムの着工を望むことが、

## 川辺川ダム事業に関する県民の意見

私は、ダム賛成の立場にて意見を申し上げます。

我々の住んでいる球磨村は、球磨川、国道219号を中心に右岸左岸に集落が存在する村です。又、国道219号対岸には、県道人吉水俣線、県道一勝地神瀬線と球磨川に沿って県道もあります。いずれも私たちにとって重要な生活道路であります。

しかしながら、いざ球磨川が暴れだすと、家屋の床上、床下浸水と私たちの大切な生活を一気にのみこみ、国道、県道も冠水し身動きが出来なくなります。冠水した後の道路は、砂がたまり車では動けない状態です。

又、浸水した家屋は見られたものではありません、水につかるのですから。知事も、これまでの経験の中で、浸水中の家、浸水後の家は見られたことはありませんか、無残のものです。

川辺川ダムは流域の生命財産を守る為に計画をされたのではなかったのですか。

今現在、球磨村においては国、県の工事により災害は少なくなっているようですが、この異常気象の中、災害、水害はいつ何時、やってくるかはわかりません、私たちの生命財産をまもってくれるのは、ダムと信じております。

反対の意見をいわれる方は、この県民では（流域外）ない方もおられるみたいで、実際に生活をしている、これからもこの村を守っていく私たちの意見もお聞きいただき、9月にはダム着工の文字を見たいものです。



わたしは、建設業に努めています。

土木技術者としてダム代替案への疑問点を申し上げ、ダムによる治水の必要性を訴えたいと思います。

#### 一、河川掘削案

掘削により河床の土砂がなくなると、護岸基礎や橋台基礎が露出し大災害を誘発する可能性が大きい。また、河川環境への悪影響が大きく、アユの生育にも影響を及ぼし兼ねないし、運搬車両が市内を通行し観光への影響も懸念される。

#### 二、河川拡幅案

市内には右岸に観光ホテル等、左岸に人吉城城壁があり河川幅を各地要するの物理的に不可能であること。また、実施するには巨額の移転費用、時間を要すること。

#### 三、堤防等嵩上案

現在の特設堤を嵩上げすれば、既存の橋梁の架け替えや、支線河川の改良整備が必要となり巨額の費用や市民生活への影響が生じる。また、市内の景観を損なうなど観光資源への影響も大きい。

#### 四、緑のダム案

これは、先の三案とは異なり、現在の林業問題、保水能力の問題、などの社会問題も関連するので代替案とはかんがえづらい。また、机上の理論であり、イデオロギー的要素が大きく今回は検討に値しないと考える。

以上、私なりに検討した結果を述べさせて頂きました。

わたしはこのことから、いちばん現実的かつ経済的な治水対策としてダムの建設を望みます。

以上。

『川辺川ダム事業に関する意見書』

○ 私は、川辺川ダム建設に賛成します。

球磨川上流域及び川辺川上流域は降水量が多く、梅雨や台風による集中豪雨時には、球磨川の氾濫が予想される。昭和40年の球磨川の洪水で以前住んでいた地域が、床上浸水し2階に避難した経験があります。洪水後の後始末など大変な、労力、財産の損失など二度と災害に遭いたくないと思った事でした。近年も球磨川の氾濫は、起きて降りませんが毎年増水し、氾濫の危険があります。テレビ等でも河川氾濫のようすが連日放送されているのが目につきます。集中的に降った雨がそのまま河川に流れるないように、ダムによる洪水調節が必要です。

ダム建設に賛成します

琵琶川の周りは今でも多くの森林に囲まれているに、中でも大きな  
たけ大きな洪水が起きている。

今より以上に森林が増えたり、森林の能力が上がるということ  
があるのだろうか

最近では雨のふる量もふえ 川の水位が

まかり避難するのには負担が大きすぎると思う

ふたんはおとなし川も山からの水でまどろ

水かさが増え沖に下る

上流だけ 流水をすくさねたら  
 中流や下流は大変なことに  
 なるので ダムを作るといいので  
 ダムを作ることによつて  
 下流の災害をふやけ  
 のでは有りませんか

僕は、人吉球磨の大水害を経験したことはありません。

でもずっと人吉球磨に住んでいます。

これからも、ずっと住み続けるでしょう。

山に登り、球磨人吉を眺めてみると、人は川に沿って土砂の堆積したところに田を造り、住居を構え生きていることがよく分かります。

もし、大洪水が発生したらひとたまりもないでしょう。

地形的に水害に弱いという特性をもったところなのです。

ここで、人が暮らすには必要最低限の治水対策が必要なのは明白です。

だから、川辺川ダムを造り、ダムを中心とした治水対策を行うのは必要不可欠だと思います。

ダムの計画から四十数年が経過している事や、社会のニーズがダムによらない治水を求めているとか言われてますが、抜本的な治水対策に流行はありません。

人が安心して暮らせるという最低条件があつてこそ、自然を慈しみ守という崇高な理念が生まれるのではないのでしょうか。

また、ダム建設まで時間がかかりすぎましたが、だから必要ないとは言えません。

たまたま、その間に致命的な洪水がなくて幸運だったと思うだけです。

『備えあれば憂いなし』の例えもあります。

ダム建設の決断をお願いします。

- 近年温暖化問題が、サミット(国際会議)等で論議されている。  
地球は温暖化による深刻な問題があるなか、北極の氷が大量に  
溶け出すこととか、海水温度の上昇に伴い台風も大型化の  
傾向にある。近年異常気象と言う言葉を良く耳にする。  
いつ、異常気象に伴う大雨又台風の影響により甚大な被害が  
あるかもしれない今、手遅れにならないように対応(ダム建設)  
するべき時である。相良村又人吉市の住民の方の  
洪水被害による悲惨な状況は想像したくありません。
  
- 五木村は、ほとんどの住民の方が、代替地に移住した、  
五木村を跡にされています。長年住み慣れた家を取り壊し  
新しい環境へ進み出した訳です。それは、ダム建設に賛成し  
五木村の再生を国土交通省委ねたわけです。  
村民の方々の願いを早期に実現してほしい。
  
- ダム問題は政治的な関与がありすぎて進まない。  
選挙の公約にまでして、議論すべきことなのか。  
一番大事なことは、五木村住民の方々長年にわたり  
選択してきたプロセスを考慮すべきです。





と	を	一	何	私	誰	し	し	私	言	現	た	と	て	こ	五
財	作	備	時	が	が	か	て	は	っ	在	が	財	お	と	木
産	り	え	、	人	災	し	く	、	て	、	、	産	り	は	村
を	備	あ	災	生	害	、	れ	五	お	一		を	ま	は	は
守	え	れ	害	七	は	現	な	木	お	部		守	し	、	先
る	て	ば	は	十	無	在	か	村	り	の		る	た	先	祖
最	お	憂	起	年	い	、	つ	が	、	下		た	。私	い	祖
大	く	い	こ	で	と	地	た	反		流		に	達	う	伝
の	事	な	る	五	言	球	の	対		域		と	は	こ	来
方	が	し	か	回	え	規	か	し		の		、	と	と	な
法	、	一	、	も	る	模	か	た		人		強	い	い	い
と	下	と	わ	体	の	の	、	時		達		い	、	こ	と
思	流	言	か	験	で	異	悔	に		が		非	り	と	で
い	域	う	り	し	し	常	や	、		ダ		難	ま	、	反
ま	の	よ	ま	て	よ	気	ま	な			を	せ	対		
す	人	ん	お	う	象	れ	ぜ		を		受	ん	を		
。	々	に	。	り	か	の	ま	、		い		け	ら	表	
	の	、		、	？	中	す	反		ら		ま	ん	明	
	生	ダ		い		で		対		ん		し	し	し	
	命	ム		つ		、		を		と					

僕は、球磨郡水上村に住んでいます。

ご存じの通り、市房ダムのある村です。

市房ダムの建設も賛否あるなか、下流域の安全のため建設が決定したと聞いています。

ダム周辺は日本一の桜の村を目指し桜が植えられ、春にはダム湖を中心に盛大な桜祭りが行われるなど多くの観光客が訪れるようになりました。

夏は、バス釣りや市房山登山、キャンプなどでにぎわいます。

川辺川ダムも下流域のためにと苦渋の選択をしたのですから、そろそろ建設したらどうかと思います。

反対派の人は、水上の者は関係ない黙っていると言うかも知れません。

でも、ダムのある村の者として言いたいのは、ダムを造ることが何でもかんでも悪いことに繋がる訳ではないと言うこと、ダムを生かして共存もできる、という事です。

ダムの討論会を見ていたら、賛成派、反対派を県があおり対立の溝を深め、球磨人吉が二分するような気がして悲しく思えました。

蒲島知事のご苦労は大変だと思いますが、どうぞ早くダムを建設し五木村民の暮らしが良くなるよう、また、下流域の人達が安心して暮らせるようにして下さい。

前知事のように無責任なことはしないで下さい。 お願いします。

## ダム建設を一日でも早く

私達が住んでいます球磨人吉地域は、中心部を流れる球磨川と共に栄え その歴史、文化を育んでまいりました。同時に球磨川は、農業水産業、観光等、基幹産業に計り知れない恩恵を与えてくれています。しかしその恵みの川が一度、大雨になりますと暴れ川となり流域に甚大な被害をもたらします。

地域住民はこれまでも 国 県 市町村に対し河川改修の促進、川辺川ダム建設等 基本的な治水対策の要望活動を行ってきたところでもあります。特に川辺川ダムが建設されることで球磨川、川辺川合流地点から下流域における治水安全度は、飛躍的に改善されることは明らかであります。

また、水没地 五木、相良両村村民の苦渋の選択を受けて既に大部分の家屋移転が完了し 生活再建対策が進められ 残すはダム本体着工のみとなっております

離村や家屋移転をされた住民の方々からは、「自分達の犠牲を無駄にしないでほしい」との声も多く聞かされます。その様な状況の中で 過日 新聞、報道によりますとダム反対の方々が二昨年発生しました浸水被害を受けられた住民アンケートを実施、あたかも流域住民の声が ダムによる洪水調節を望んでいないようなコメントをされています。同時に洪水の原因等が市房ダムの放流によるもの、ダムが出来てから洪水が多くなった等の住民の声として紹介されております。しかし管理者であります県当局から操作規定を含め従前の災害を通じて 市房ダムの洪水調整能力については、流域住民をはじめ広く県民に理解されています。

治水対策事業については、それぞれの考え方、捉え方によって 方法手段が異なることは、理解するところでもあります。しかし国土交通省並びに県の努力により 9回に及ぶ住民討論集会が開催され ダム反対派の方々が提案された代替案についても現地検証を含め議論がなされ、その内容は、非現実的で杭土の空論と言っても過言ではありません。

一日も早く 安心、安全で暮らせる地域づくりの為にダム促進を望んでおります。

## 意見279

大きな洪水が来て災害が発生してから、やっぱりダムは必要だったと言っても遅いのではないか。  
事前に、災害を防止することが大切だと思う、その為にも、ダムが必要だと思う。

## 川辺川ダムについて

川辺川ダム建設が計画されて何年立ったのでしょうか？

私のふるさとは、球磨村神瀬ですが子供の頃より度々

小学校の校庭やら、白石駅、国道 219、民家等の水難を

観てきましたが、まだ、この歳（56 歳）になっても

水害の恐怖が消えません。球磨村の球磨川流域に住む住民は、

球磨川の洪水の解消を切に望んでいます。

それは、川辺川ダムの建設推進しか ありません。

どうぞ、早期着工をお願いします。